



～未来を切り開くスクール～

「みらくる」 ～未来を切り開くスクール～ 2018 運営マニュアル





～未来を切り開くスクール～

申込み・問合せについて

「みらくる」運営室

公益社団法人小田原青年会議所

地域教育推進委員会 委員長 室伏 寿美夫

TEL 0465-22-6381 FAX 0465-22-8200

ホームページ <http://www.odawara-jc.or.jp/2018/index.htm>

ボランティアスタッフの業務について

ボランティアスタッフは各クラスに分かれ、先生役となり次の業務について子どもたちのサポート、指導をお願いします。

授業とレクリエーション

- 子どもたちの遊びと体験
- 野外体験活動
- 合宿（卒楽合宿）
- 家族との連絡

※ ボランティアの参加人数によって、運営室でクラスを組ませていただきます。

※ 各クラスの担任・副担任を定め、実施運営してゆきます。





～未来を切り開くスクール～

プログラムについて

「みらくる」で行う、主な活動プログラムです。
天候等によりプログラム内容が変更になる場合があります。
各プログラム内容・実施場所等の詳細については、運営室より連絡します。

日付 (予定)	行事	場所
3月31日 (土)	入楽説明会	UMECO
4月22日 (日)	入楽式 「みらくるスイッチON！」	小田原アリーナ
5月20日 (日)	みらくるファーム ～みんなで育てる～	秋澤マルミ農園 小田原市沼代1225
6月10日 (日)	みらくるフィッシング	早川漁港
7月8日 (日)	みらくるインターナショナル	小田原市内 (予定)
7月16日 (月)	みらくるファーム ～収穫祭～	秋澤マルミ農園 小田原市沼代1225
8月21日 (火)	わがまちPR大作戦	箱根町内 (予定)
9月1/2日 (土/日)	卒楽合宿 ～感謝の想いとサバイバル～	小田原市内 (予定)

以上の開催事業の他に畑の草取り作業と併せて、以下の授業の開催を予定しています。

- ・山の恵み～たけのこ収穫と流しそうめん～ (6月2日)
- ・地域の恵み～梅ジュース作り体験～ (6月24日)
- ・みらくるキッチン～柑橘ジュース～ (8月19日)





～未来を切り開くスクール～

～4月授業～

第1回 入楽式

「みらくるスイッチON!」



メンタルトレーニングコーチと
みらくるやる気スイッチの
入れ方を学ぼう!!

●4月22日(日)「みらくる」入楽式

「みらくるスイッチON」

楽校の入楽式を行い、1限目のオリエンテーションでは自己紹介等や学区を超えた友情を構築させることにより楽しく体験できる体制を整えスタートします。

主に楽生のみらくる参加への目的意識を高めつつ、楽生が将来夢を叶えるために必要な強い気持ちの作り方の授業を行うことを予定しています。

今年度のみらくる参加への心構えや苦難を乗り越える方法も分かりやすくレクチャーしてもらいます。

困難な状況でも常にポジティブな思考を持つことの大切さ、仲間にもそこ言動を波及できることも実感してもらいます。

- ① 他者を想い、尊重する心
- ② みんなと協力し、行動する心
- ③ 自己を理解し、自己を尊重する自尊心
- ⑤ 地域の資源や自然の恩恵に感謝する心
- ⑦ 自発的に行動するチャレンジ精神
- ⑧ 自分ならできる!という自信





～未来を切り開くスクール～

～ 5 月授業～

第2回 みらくるファーム

～みんな育てる～



自分たちで
夏野菜を育てよう!

山の恵み

● 5月20日(日)「みらくるファーム

～みんな育てる～」

「夏野菜の種まき、みかんの花摘み」

農園の一部を借り、農作物の種まきから収穫までを行います。農作物の日々の成長を見守ることで、命の成長、食べ物を作る苦勞、食べ物のある有難さなどを感じ道徳心を養います。

地域の恵みを感じ、自然と共存することで自身の存在があることを実感する機会を提供致します。屋外での授業を行うことで、季節の移り変わりから感じられる自然のありがたさを感じ、地域の特産物を知り、地域愛を育みます。

- ②みんなと協力し、行動する心
- ④「当たり前」が当たり前ではなく、不自由ない環境に感謝する心
- ⑤地域の資源や自然の恩恵に感謝する心
- ⑥ 食物など、様々な生命の犠牲の上に自らの命が成り立っていることへの感謝の心
- ⑦自発的に行動するチャレンジ精神





～未来を切り開くスクール～

～ 6 月授業～

● 6月10日(日)「みらくるフィッシング」

地域の恵みを感じる

子供たちの日常において、自分たちが口
にしている生き物のそのままの姿を目に
する機会はそう多くはないと思います。
海の中で切り身が泳いでいると認識して
いる子供たちがいるという現状を耳にす

るなかで、この授業において漁港において釣り体験を行い、生きた魚をさばき、
干物に加工します。

自分が実際に口にしている食べ物は命をいただき、どのように得られ、どのよ
うに加工されているかを知ることが出来ます。また地域の産物を知ることが出
来、地域愛にもつながります。

- ④ 「当たり前」が当たり前ではなく、不自由ない環境に感謝する心
- ⑤ 地域の資源や自然の恩恵に感謝する心
- ⑥ 食物など、様々な生命の犠牲の上に自らの命が成り立っていることへの感謝の心
- ⑦ 自発的に行動するチャレンジ精神
- ⑧ 自分ならできる！という自信





～未来を切り開くスクール～

第4回 みらくるインターナショナル

～7月授業～

●7月8日(日)「みらくるインターナショナル」

国際交流

小学校の段階から様々な世界に目を向け広い視野を持たせることが重要です。

国際化社会を迎える中、様々な外国人の方との交流することで国際化意識の醸成、我がまちへの誇りを感じる内容にいたします。



国際社会に対し主体性を持ち、探究し、進んで交流することで国際意識を醸成し、また他国の文化を知ることで自分たちの地域に誇りを持つことも出来ます。

- ①他者を想い、尊重する心
- ③自己を理解し、自己を尊重する自尊心
- ⑦自発的に行動するチャレンジ精神
- ⑧自分ならできる!という自信





～未来を切り開くスクール～

第5回 みらくるファーム

～収穫祭～

みんなで育てた野菜を収穫!!
大地の恵みに感謝しよう!!



収穫祭

～ 7 月授業～

● 7月16日(月)「みらくるファーム

～夏の収穫祭～

みらくる収穫体験

5月に種をまいた農作物の一部の収穫を行います。地域の恵みを理解し、作物の成長を実感すると共に、収穫までの苦労も知ることが出来る授業にします。

いつも何気なく口にしている作物の命の成長を感じ、命を頂くというところから道徳心を養います。また、その地域の作物を理解し、種まきからその土地の季節の移り変わりも感じれることから地域愛も感じる事が出来ます。

②みんなと協力し、行動する心

④「当たり前」が当たり前ではなく、不自由ない環境に感謝する心

⑤地域の資源や自然の恩恵に感謝する心

⑥ 食物など、様々な生命の犠牲の上に自らの命が成り立っていることへの感謝の心

⑦自発的に行動するチャレンジ精神





～未来を切り開くスクール～

～ 8 月授業～

第6回 わがまちPR大作戦

地域の魅力を知ってもらおう!
収穫・加工・販売にチャレンジ!!



● 8月21日(火)「わがまち PR 大作戦」

みらくるファームで得た作物の加工したものを、小田原青年会議所の事業に来場する市民に対し PR をし、販売します。

相手の気持ちや要求を考え販売を行い、地域の特産物を販売するお仕事体験をすることで道徳心と地域愛を養えます。

小学生という段階で、年代や性別、国境の壁を越えた人と人が繋がりあう交流と広い視野を感じて頂ける体験を実施します。

- ①他者を想い、尊重する心
- ②みんなと協力し、行動する心
- ③自己を理解し、自己を尊重する自尊心
- ④「当たり前」が当たり前ではなく、不自由ない環境に感謝する心
- ⑤地域の資源や自然の恩恵に感謝する心
- ⑥食物など、様々な生命の犠牲の上に自らの命が成り立っていることへの感謝の心
- ⑦ 自発的に行動するチャレンジ精神
- ⑧ 自分ならできる！という自信





～未来を切り開くスクール～

～ 9月授業～

● 9月1日(土)～9月2日(日)「卒楽合宿

～感謝の想いとサバイバル～」



今年度を締めくくる集大成の授業として卒楽合宿を行います。

これまでの授業から、友人の協力、地域への愛着、食べ物がある有難さ、などを学んできました。卒楽合宿では今までの授業とは異なり、非日常的な災害体験を通し、有事の際に出来ること出来ないことを知り、周りを見ながら行動することで道徳心や思いやりの心を育むことができます。

また、自発的な行動を求め、チャレンジ精神を養う授業を行うことで自尊心を高めることができます。

半年間の授業のなかで感じた道徳心、地域愛、苦労・感謝を保護者に伝える機会にもなります。

- ①他者を想い、尊重する心
- ②みんなと協力し、行動する心
- ③自己を理解し、自己を尊重する自尊心
- ④「当たり前」が当たり前ではなく、不自由ない環境に感謝する心
- ⑤地域の資源や自然の恩恵に感謝する心
- ⑥食物など、様々な生命の犠牲の上に自らの命が成り立っていることへの感謝の心
- ⑦自発的に行動するチャレンジ精神
- ⑧自分ならできる！という自信



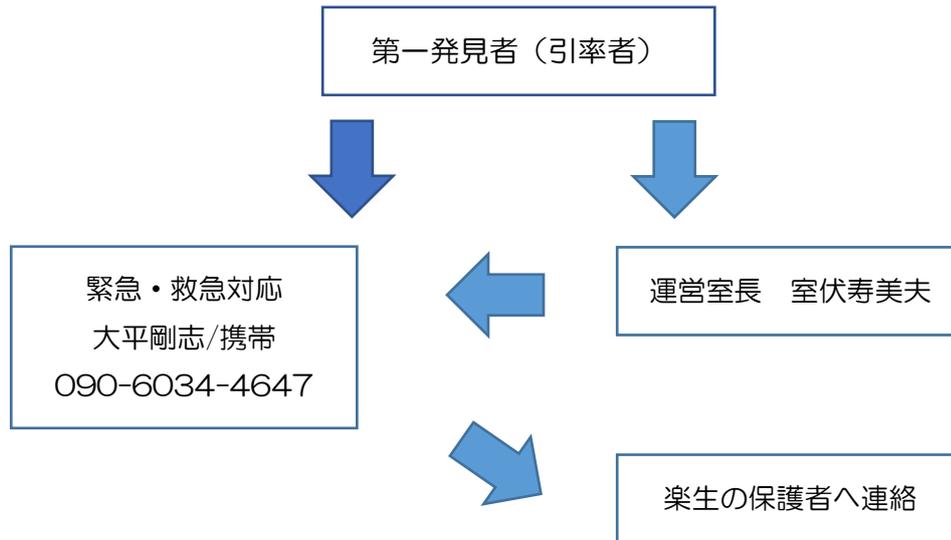


～未来を切り開くスクール～

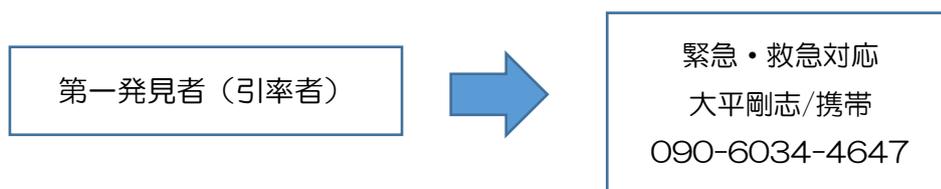
緊急時の対応について

□責任者 「みらくる」運営室長 室伏 寿美夫

楽生の体調が悪くなった場合



火災・地震が起こったとき・不審者が現れた時



※火災を発見した場合、不審者を目撃した場合は、直ちに大平までご連絡をお願いします。
※地震が起きた場合は、アナウンスにしたがって子どもたちを誘導してください。

《緊急時の避難場所》運営室の指示に従ってください。

《緊急・救護》大平までご連絡ください。





～未来を切り開くスクール～

応急処置マニュアル

(簡易省略版)

※参考 日本赤十字社ホームページより





～未来を切り開くスクール～

救命の連鎖

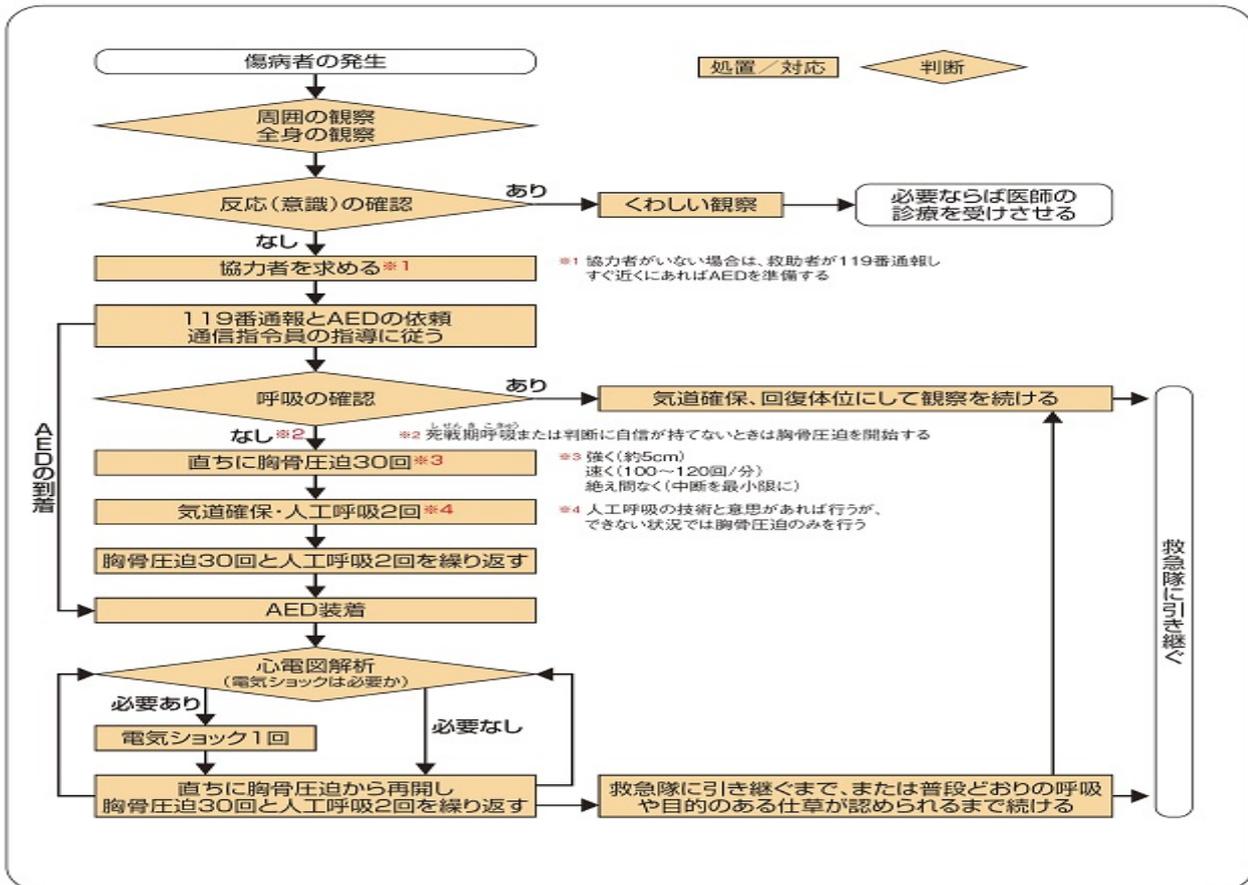
『心停止の予防』、『心停止の早期認識と通報』、『一次救命処置（心肺蘇生とAED）』、『二次救命処置と心拍再開後の集中治療』をそれぞれ4つの鎖の輪に例え、これらの鎖が迅速に途切れることなく連携されることで救命率が向上することを表しています。



あなたも鎖をつなぐ一人になりましょう！

一次救命処置の手順

一次救命処置（BLS）





～未来を切り開くスクール～

動物にかまれた・ 蜂に刺された

咬創（動物にかまれたきず）の一般的手当

動物の歯は不潔なので特殊な病気ばかりでなく、一般の感染にも注意する必要があります。

- どんなに小さなきずでも、石けんを使って水でよく洗います。きずの回りも唾液がついているところはよく洗い流します
- 清潔なガーゼを当てて包帯をします。
- 動物などによる咬創は化膿しやすく、動物が病気に感染していることもあるので、必ず医師の診療を受けるようにします。

①イヌにかまれたきず

するどい歯でかまれると、深いきずやさききず（裂創）ができ、こどもがかみ殺された例もあります。イヌにかまれると、すぐ狂犬病を心配しますが、現在、わが国では狂犬病の発生はありません。しかし、狂犬病流行国を旅行中に感染したり、流行国から短時間で航空機によって運ばれたペットから感染する危険があります。

狂犬病ウイルスは、必ずしもイヌばかりでなく、ネコ、キツネ、オオカミ、スカンクなどによっても感染します。

手当・感染の危険があるので、速やかに医師の診療を受けさせます。

- 飼い主のわからないイヌのときには、イヌの特徴などを保健所に届けて、捕獲してもらいます（2週間イヌを隔離して観察します。狂犬ならば発病して必ず死にます）。

※狂犬病流行国でかまれた事実があれば、できるだけ早く医療機関でワクチン接種を受けるようにします。

②ネコにかまれたきず

ネコにひっかかれたり、かまれたりした数日から数週間後に、きず口の周囲に赤紫色の隆起、リンパ節の痛みや腫れ、発熱がみられることがあります。これは、猫ひっかき病といって、特定の細菌がネコノミからネコ、人に感染する人畜共通感染症で、夏から初冬に多く発生します。

手当…リンパ節の腫大や発熱は、他の病気でもみられる症状ですが、発熱が続くようなら、必ず医師の診療を受けるようにします。

③ネズミにかまれたきず

単にかまれたきずの化膿だけでなく、スピロヘータという菌が原因で、きずがいったん治った後、また腫れたり熱が出たりすることもあります。

手当・きずは清潔にします。

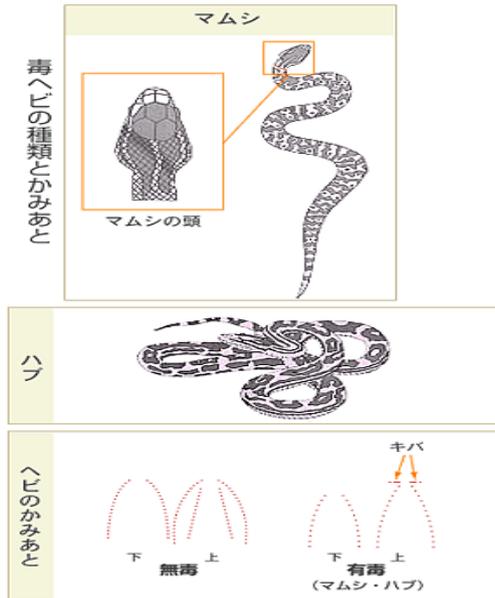
- どんな小さな傷でも、感染の危険があるので、必ず医師の診療を受けるようにします。





～未来を切り開くスクール～

④ヘビにかまれたきず



普段から、無毒と有毒ヘビの見分け方を知っておくとよいのですが、とっさの場合、区別がつかないことが多いです。日本での毒ヘビは、マムシ（北海道から九州）、ハブ（沖縄、奄美諸島）、ヤマカガシ（本州、四国、九州など）です。

マムシやハブは、かまれると10分前後できず口が腫れてきます。痛みが起こり、適切な応急手当をしないと全身状態が悪くなり死亡する危険があります。

ヤマカガシにかまれたときは、数時間くらい後できず口から出血し、歯茎や皮下、内臓、粘膜からも出血するのが特徴です。毒液が直接目に入ると失明することがあります。

手当

- 安静にします。手足を曲げ伸ばしたり走ったりしないようにします。
- ヤマカガシなどの毒液が目に入ったときには、すぐに水でよく洗い流します。
- ヘビの毒素により脱水症状を起こしやすいので、水分を与えます。
- 急いで医療機関に搬送します。（毒ヘビの場合、血清の投与など適切な治療をしないと、死亡する危険があります。）
- かまれたきず口に口をつけて吸い出すことは、推奨されません。

⑤ハチ（スズメバチ、アシナガバチ）に刺された

ハチに刺されると痛みと腫れが起こり、ハチ毒に過敏な人は、一匹に刺されてもショック状態になったり、呼吸停止を起こし死亡することがあります。

手当

- 針が残っているものは、根元から毛抜きで抜くか、横に払って落とす（針をつまむと、針の中の毒をさらに注入することがあります）。
- 冷湿布をして医師の診療を受けるようにします。





～未来を切り開くスクール～

症状

- 激しい腹痛を訴えます。
- 顔色は蒼白で、額に冷や汗をうかべ、脈は弱く速い。
- 意識が障害されることがあります。
- 一般に腹部は張ったように固く、嘔吐などを伴います。

手当



- ベルトなどを緩め、本人の最も楽な体位に寝かせます。
 - 横向きで体を丸めた体位か、上向きで膝を曲げた体位をとさせます。
 - 腹を温めたり、冷やしたり、下剤を与えてはいけません。
 - 飲食物を与えてはいけません。
 - 急いで医療機関に搬送します。
 - 吐いたものは医師に見せます。
- 腹痛の部位（どの部分か）、程度（どのような）、時間（続けて、ときどきなど）を医師に報告します

食中毒

いずれも、食べたり、飲んだり、皮膚から吸収されたり、肺に吸い込んだり、注射によって中毒を起こします。調理してから食べるまでに時間がたった食物や、生の食品が細菌で汚染されると、増殖した細菌そのもの、または細菌の出す毒素が中毒の原因となります。これを食中毒といいます。

症状

- 腹痛、嘔吐、下痢で始まり熱が出ます。
- ボツリヌス菌中毒では、眼球、喉、食道の筋肉麻痺などの神経系の症状として、物が2つに見えたり、飲み込むことや、呼吸ができなくなったりします。

手当

- 嘔吐・下痢がある場合は脱水を防止するため、嘔吐を誘発しないように水分を少量ずつ頻回に与えます。
 - 吐いた物が気管に入らないような体位（回復体位）をとさせます。
 - できるだけ早く医師の診療を受けさせます。
- ※吐いた物や便などは医師に見せます。





～未来を切り開くスクール～

熱中症

高温や高湿の環境下で起こる全身の熱障害を熱中症といい、症状により熱痙攣(けいれん)、熱疲労、体温調節機能障害を伴う熱射病に分けられます。

①熱痙攣

高温の環境下で作業や運動をした時などに起こる、痛みを伴った筋肉の痙攣であり、吐き気や腹痛を伴います。

大量の発汗があるのに水分を補給しなかったり、塩分を含まない水分のみを補給したときに起こり、体温の上昇があってもわずかです。

②熱疲労

高温の環境下で、ことに蒸し暑いところで、疲労感、頭痛、めまい、吐き気などの症状が認められます。

大量の発汗による脱水症状であり、汗の蒸発による熱放散が不足するために体温は上昇します。

③熱射病

高温の環境下で体温調節機能が破綻した状態をいいます。異常な体温の上昇と興奮、錯乱、痙攣、昏睡などの意識障害が特徴です。

発汗の停止によって皮膚は乾燥し、手当が遅ければショックや細胞・臓器障害に陥り、死亡することもあるので危険です。

手当

- 風通しが良い日陰や冷房の効いた所に運び、衣類をゆるめて楽にします。
- 本人が楽な体位にしますが、顔面が蒼白で脈が弱いときには、足を高くした体位にします。
- 意識があり、吐き気や嘔吐などがなければ、水分補給をさせます。スポーツ飲料(塩分が含まれている)か、薄い食塩水などを飲ませます。
- 皮膚の温度が高いときには、水で全身の皮膚をぬらし、あおいで風を送り体温を下げます。
- 皮膚が冷たかったり、震えがあるときには、乾いたタオルなどで皮膚をマッサージします。
- このような手当をしても、熱痙攣や熱疲労の症状がおさまらないときは、できるだけ早く医師の診療を受けさせます。
- 熱射病の症状があるときは、急いで医療機関に搬送します。
- 意識がないときは、一次救命処置の手順により手当を行います。





～未来を切り開くスクール～

水の事故（レジャー・水遊び）

①水遊びや魚とり

こどもの水の事故で最も多いのが、海や川、池での水遊びによるものです。こどもたちは遊びに熱中するほど周囲の状況が目にはいらなくなります。けっしてひとり遊びをさせてはいけません。

- **どろ底の池などでは遊ばない**
- **池や川岸の草のおい茂っているところには近よらない**
- **丸太や漂流物の上では遊ばない**
- **波の高いときは岩場には近よらない**
- **増水に注意する**
- **氷のはっているところには安全が確認されるまで乗らない**

②レジャーやスポーツ

ボートやヨット、釣りなど、水のレジャーやスポーツによる水の事故も後をたちません。自分だけは大丈夫と過信したり、せっかく来たのだからと無理をしたりせずに、安全を確認して楽しみたいものです。

山間部の河川ではわずかな雨でも何が起こるかわかりません。また海岸では、潮の満ち引きによって水位が変化しますので、注意が必要です。

ボートやヨットなどの小船の安全

- 定員以上乗らない
- むやみに席を替わらない
- 救命胴衣を必ず身につける
- 天候が悪いときや、波や風が強いときには乗らない
- 危険な場所で乗り降りしない
- 他の船や遊泳者、ダイバーなどに気をつける

釣りやキャンプの安全

- 磯釣りは高波と足場に注意し、必ず救命胴衣を身につける
- 河川の釣りは滑りやすいので、足元に注意する
- ダムの下流や中洲、河原などでは、時間により水かさが変わりやすく危険なのでキャンプをしない

